

佐志区公民館だより 創刊号①

新年のご挨拶 三角佐志公民館長

令和3年(2021年)はいつもになく静かに明けました。区民の皆様、明けましておめでとうございます。昨年は目に見えぬ敵、コロナウイルスの影響で何もできない年となりました。

改めまして佐志区公民館長の三角航洋と申します。前:橋口館長の後任として区民の皆様のお手伝いを担うことになりました、重責で何もわかりませんが前任者同様よろしくお願い申し上げます。コロナ禍でご挨拶が遅れましたこと、誠に申し訳ございませんでした。その昔、佐志郵便局にいた頃もありましたが、面識のある方も多いかと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、佐志区では町行政当局の指導により「地域づくり活性化計画書(5か年計画)」の策定年度に当たります。区民の皆様の声アンケート(抽出)により、お聞きしたところです。たくさんの貴重なご意見ご要望、提案をいただきました。ご協力ありがとうございました。課題は山積しておりますが、区として取り組めるものは「活性化計画」に反映し、向こう5か年で達成できるように役員会議等に図っていきたく思います。

ところで、昨年は永年の懸案事項でありました阿字賀神社(豆漬公民会内)の改修工事を実施しました。地域の守護神として、その歴史は古くこれまで何回となく再建(1583年「天正11年」)、改修、修復等なされてきた経緯は区民の皆様ご存じのとおりであります。今回は社殿一部倒壊喪失までに至ったことは誠に遺憾なこととは思いますが、40数年ぶりの改修工事となりました。賛否両論、必要不必要にかかわらず、いろんなご意見があろうかと思いますが、その昔、佐志郷(広瀬村、田原村)、佐志村時代を知る上においては貴重な歴史的文化財になるのではないのでしょうか。「今日ある佐志区、佐志区民の生立ちを全て見守って来た」と思うとその歴史がしのべれます。宮之城島津家歴史資料によると、佐志村には武士(下級?)が多かったと記されているようです。今後維持管理上の課題も多いですが、後世継承は必要かと思ひます。階段が急傾斜で所々で足場が悪いところがあります。参拝される方は十分気を付けてください。



佐志区の主な組織

【公民館役員】

役職	氏名	公民会
公民館長	三角 航洋	豆 漬
副公民館長	宮之脇 勝	ほたる
会 計	豎山 敏久	さくら
総務部長	久保蘭 千秋	あながわ
文化部長	深川 紀子	ほたる
産業部長	竹中 修一	木 洩
女性部長	宮之脇加余子	さくら
体育部長	原之蘭 学	田 原
福祉部長	宮之脇 勝	ほたる
監査委員	久保蘭 純隆	あながわ
監査委員	米良 瑞枝	さくら
代議員会議長	神園 修一	布 田
広報委員会	久保 敬作	広 瀬
ニュー女性部長	岸良よし子	豆 漬
青少年育成委員	橋口 正人	仮屋原

【公民会役員】

公民会名	戸数	公民会長	体育部長
木 洩	29	前之園 輝美	垣内 浩隆
仮 屋 原	46	齋藤 将英	市来 誠次
前 目	24	内藤 亮平	福島 正浄
ほ た る	45	宮之脇 勝	山崎 博文
広 瀬	33	長迫 敏文	崎山 祐二
池 之 野	32	池之野 広美	今園 正二
さ く ら	31	古町 忠義	楠原 重孝
上 寺 下	37	寿福 純義	中山 健一郎
豆 漬	47	岩崎 克徳	三角 大輔
布 田	33	永井 辰生	久保蘭 正貴
あながわ	85	久保蘭 千秋	中間 茂
田 原	47	豊増 泰弘	井手之上利弘
計	489		

【さつま町消防団 佐志分団】

役 員			
分団長	手塚 和昌	上寺下	
副分団長	久保 辰朗	広 瀬	
部長・1班長	川津 充弘	あながわ	
会計・2班長	伊地知 和美	仮屋原	
3班長	池之野 清治	池之野	
団 員			
福山 恵三	上寺下	折小野 仁	あながわ
内山 敬太	布田	竹中 正洋	木 洩
小川内 陽介	ほたる	豊増 浩三	田原
福島 正浄	前目	岸良 剛	豆漬
中原 隆裕	前目	今東 佑介	ほたる
楠原 重孝	さくら	久保蘭 貴政	あながわ
桐原 靖偵	ほたる	栗屋野 友博	あながわ
池之野 智幸	池之野		

阿字賀神社 400年ぶりの再興成る！

区民の皆様から、支援を受けている阿字賀神社でしたが老朽化が激しく、由緒あるこの神社を「どげんかせんといかん。」と前公民館長の橋口正人さんの発議により改修工事がなされ、宮之城島津時代から400年の年月を経て立派なものとなりました。

歴史ある遺産が地元佐志にあることを認識して、後生に残すことはもちろん、近い将来子供たちを中心に「階段登り競争」や「盆踊り」などを企画したらどうでしょうか。

和暦	西暦	記 事
		建立不詳
天正11年	1583年	島津歳久公再興
		大災により消失
天正14年	1586年	島津久當公が新たに再興
令和2年	2020年	佐志公民館により改修
?	?	階段登り競争が始まる。



改修を終えた阿字賀神社
建築：吉村建築設計事務所

佐志区公民館だより

創刊号②

【佐志小学校創立150周年記念行事を盛り上げましょう！】

佐志小学校は、明治4年（1871年）に、旧郷校を建て寺子屋風の教育が始められたことを起源として、組織の変更や校名の仮称等を経て、激動の時代を乗り越えながら、数多くの人材を輩出し、輝かしい伝統を築いて参りました。

そして、令和3年（2021年）大きな節目となる創立150周年を迎えることとなりました。今回、創立150周年を迎えるにあたり、佐志小学校の新たな飛躍と教育の充実した発展、また、これまで受け継がれてきた佐志小学校の誇りを継承し、「地域の宝」である子供たちがその誇りを未来につなげていけることを目標とした、「佐志小学校創立150周年記念事業」を次のとおり執り行うことといたしました。

つきましては、本事業の趣旨をご理解の上ご賛同いただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【実行委員会組織図】

総務	会長	OB代表	記念誌部	記念誌の内容構成・作成等 ※目下、5000名に及ぶ名簿作成に奮闘中！	事務局	小学校教頭
	副会長	PTA会長	記念式典部	記念式典の内容構成・準備 ※どういう記念式典にするか立案中	会計	佐志郵便局長
	副会長	公民館長	事業部	実施事業等の内容決定、準備 ※新年度初めの横断幕等設置の準備中		
	副会長	学校長				

【実施時期】

1	開催日	令和3年11月7日（日） （小学校学習発表会時）
2	予算目標額	300万円

【予想される出費】

No.	費目
1	小学校校旗
2	記念誌
3	横断幕の設置
4	のぼり旗の設置
5	謝礼等（記念講演実施時）

【準備する予算】

No.	費目
1	小学校の管理する基金
2	事業益金
3	小学校OBからの寄付金
4	
計	300万円

池田 遙君 文科学大臣賞を受賞する！

水や海をテーマに命や自然の大切さを考えるための作文コンテスト「ぎぶん賞2020」で、佐志小学校1年生の池田遙君（佐志小1年生 あながわ公民会 佐志小水泳スポーツ少年団所属）が最高賞に次ぐ文部科学大臣賞を受賞しました。

池田君の作文「まごちをつったよ」は、大好きな釣りをしたときの思い出が書かれており、父と弟の3人で大物のまごちを釣り上げたときの興奮やうれしさが伝わってくる作品です。

池田君、そしてご家族の皆さん今回の受賞おめでとうございました。今後さらなる池田君の成長に期待します。



受賞に満面の笑み

新企画！ 我が村自慢 第1回木渋編

※この企画は、佐志区12公民会の持ち回りとしします。（12公民会／1年）

木渋集落は、県道51号線（宮之城加治木線）で交通量が多く山・畑・田んぼに囲まれた米農家・畜産農家を中心とした集落です。

年末は、明良神社祭（例年なら忘年会・ビンゴゲーム・カラオケをしますが本年度は中止。）、1月は鬼火焚きを青壮年部が主体となり木渋集落民総出で3日間かけて行い、9日（土）に実施しました。

木渋公民会は、団結してソフトボール・バレーボール・運動会・グラウンドゴルフ大会優勝を目指して頑張りたいです。

公民会長：前之園 輝美		
人口比率		
戸数	29	比率
小学生未満	0	0.00%
小学生	1	1.67%
中学生	2	3.33%
高校生	2	3.33%
大学生	0	0.00%
一般	27	45.00%
75歳以上	28	46.67%
合計	60	100.00%



鬼火焚きの様子